

こんな時だからこそ学びたい、つながりあいた タブレット学習会

青年フェスタ、

大教組・教文部教研

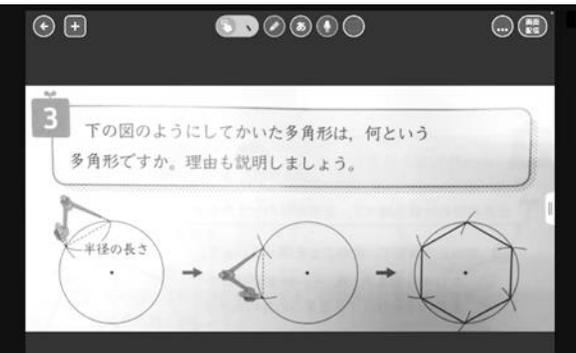
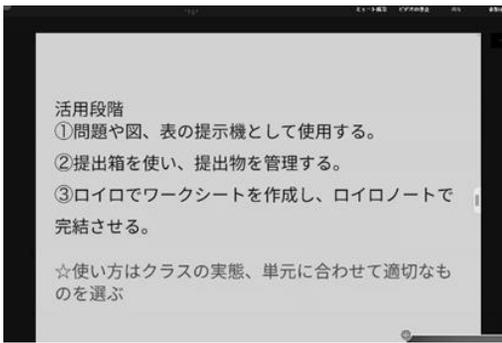
「使ってみようタブレット3」

明日から使えるアイデアが盛りだくさん

2月18日、オンラインで「使ってみようタブレット」の学習会がありました。

自己紹介をしてもらおうと3人で一緒に参加してくれているグループもあり、広がりを感じました。

今回は、算数を中心とした実践紹介でした。動画による説明のあと、みんなからの質問をもとに、実際にロイロを操作しながらいろいろチャレンジしてみました。



サイトからマス目のあるノートを取ってきたり、教科書の問題にヒントカードをつけて提示したり、明日から使えるアイデアが盛りだくさんでした！動画は枚方教組 LINE 公式アカウントにアップされていますので、「まだ見てない！」「見逃した！」という人はぜひ活用ください！

青年フェスタ2021

目からウロコの、授業実践

保護者をつながりあえる関係づくり

目からウロコの授業実践

授業実践

2月13日に何森（いずも）先生の算数、低学年に参りました。学習指導要領の改定で、算数の単元にも変更がありました。

昨年、一年生に教えながら、分数を扱うことや、減加方を減減方をすると子どもが混乱することに疑問を感じながらも、教科書通りにそのまま教えている自分がいました。

今回、何森（いずも）先生からこのタイミングで教えるなければならない単元、教えるてもいい単元、扱ってはダメな単元があると教えていただき、目からウロコでした。教師が主体的に考え、授業

大教組・教文部教研・小倉小・菅さん

子どもたちの自主性を引き出す

「コロナ禍での運動会づくり

緊急事態宣言の中で、今年度の「教育のつどい大阪」の開催はできませんでしたが、大教組の教文部教研としてリモートで分科会が開催され

ます。2月22日(土)には、「教育課程・教科書問題分科会」で小倉小学校の菅さんが職場の先生とともに実践を紹介。「コロ

ナ禍での運動会づくり」として、行事の削減や簡素化の中でも、子ども達の思いや願いをくみ上げながら、自主性を引き出して充実感の持てる運動会づくりに取り組んだ実践を報告しました。分科会参加者からは、子ども達の実態にもとづいて、主体的に考えて教育実践を組み立ていく取り組みに、大きな共感が寄せられていました。

を組むことで、子どもたちも「わかった・できた」になるのだと、学びました。保護者をつながりあえる関係づくり

青年フェスタに参加するのは、3回目でした。

実技講義は「保護者とのかわり」に参加しました。私は、新学期から1年経過しても保護者との関係がどこかよそよそしいままのことが多く、懇談会も苦手でした。

今回の話を聞いて、保護者と手をつないで子ども達の成長を一緒に見守り、喜んでいけるような関係作りをしたいと思いました。リモートでも実践を聞くことができ、良かったです。ありがとうございました。

大教組 教文部教研(オンライン)続報

☆ 算数・数学教育分科会

3月21日(日) 13:30~16:30

- 内容
1. コロナ禍での教育課程編成(小学校)
 2. 関数の導入~実践と考察~(中学校)
 3. 三年生の分数(小学校)

申込みはこちら



☆ 障害児教育分科会

3月14日(日)

- 10:00~障害児学校レポート交流
 1. 院内学級における教科指導を通した子どもとの関わり
 2. 子ども達の思いに応える分教室(院内学級)を目指して
 3. AくんBくんから学んだこと
- 13:20~障害児学級レポート交流
 1. タンポポ学級を安心できる居場所に、そして
 2. つながりあって育ち合う
 3. やる気と自己肯定感を育てる ~通級指導教室の実践~
 4. 本当は友達と遊びたい



申込みはこちら